

あんしん・あんぜん・元気なてらやつ 広報第15号

## 寺谷小域福祉ネットワークだより

\*\*編集・発行\*\*

発行責任者:前川 清

問合せ先:「なのはな館」

電話: 92-1481

# 第2回 てらやつ祭り てらやつ夏祭り

来春閉校になる寺谷小学校地域の人々に  
心に残る思い出をつくりたい **8月4日(日)開催!**

8月4日(日) 寺谷小学校にて「第2回 てらやつ祭り てらやつ夏祭り」を開催。共催として小域ネットワークでは、てらやつ祭り実行委員会とともに、草刈りをはじめ、前日準備、会場整備、駐車場誘導などにあたりました。

猛暑の中、昨年を上回る40を超える出店店舗を数え、南総中学校吹奏楽部の演奏、吉野台太鼓連の演舞、シャボン玉パフォーマンス、こころ舞踊団によるダンス、生演奏バンド「ヒトマス」のライブ、woodbellのオタ芸…数々のパフォーマンスやワークショップが祭りを盛り上げてくれました。

会場のあちこちでは、懐かしい友人との再会を喜ぶ姿や、校舎を懐かしむ卒業生の姿がみられました。外気温37℃とも言われるなか、来てくださった方に感謝しかありません。ブース等の集計によれば1300人を超える方が来てくださったとのこと。その模様は千葉日報や広報いちほら9月号にも掲載され、ケーブルテレビあいチャンネルトピックスの中でも紹介されました。

新型コロナの影響などで地元の祭りやイベントが少なくなる中、寺谷が地域の方々に愛されていることを感じ、みんなの故郷として心の中に生き続けることを願ってやみません。

開催にあたっては各町会や自治会、寺谷小学校職員やPTA、消防団の皆様他 多くの方々のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

当日の様子は動画でも見ることができます。 <https://www.instagram.com/p/C-TI7lwSAA3/>

てらやつ祭り実行委員代表 高垣知子



てらやつのシンボル  
プラタナスの木と  
ふくろうをデザイン!



閉校記念事業の一環として  
つくられたTシャツも販売

心に残る夏の思い出作り

## てらやつ夏祭り

8月4日、寺谷小学校でてらやつ夏祭りが開催されました。寺谷小学校は、今年度いっばいで統合されるため、このお祭りは「地域の人々に心に残る思い出をつくりたい」と地元の実行委員会が企画。当日はキッチンカーやハンドメイドのお店が並び、シャボン玉のショーやダンス、地元の太鼓連による演奏などさまざまな催しが行われました。祭りには卒業生も多く訪れて、懐かしい校舎とともに、楽しい夏の1日を過ごしていました。



▲シャボン玉パフォーマンスに子どもたちも大喜び

広報いちほら9月号より



# 日常生活支援事業「ささえあい寺谷」をスタートします

～住み慣れた街で、みんなが安心して暮らしていくために～

地域社会では、昔から「困ったときはお互いさま」という考え方を基本に、ご近所同士が協力し合ったり、家庭内で解決できないこともお互いに支え合ってきました。

しかし、最近では、少子高齢化や人口減少、核家族化の進行等の要因からか、お互いあまり干渉し合わない風潮が広がりつつあり、その結果、生活のちょっとした困りごと（ゴミ出し、草刈りなど）を抱える高齢者が増加してきました。こういった方々の「ちょっとした困りごと」にフォーカスし、それを解決するための組織として「日常生活支援事業」を立ち上げました。住民同士の助け合いの中で、できる人ができる時にちょっとだけお手伝いする事業です。

寺谷地区では、この事業を「ささえあい寺谷」と称し活動の輪を広げていきます。そして、地域住民が無理なく、さりげなく、普段の暮らしの延長として取り組める福祉活動をめざします。

## 1 事業の概要

「ささえあい寺谷」は、寺谷地区の住民がお互いに支え合い、助け合う地域共生社会の実現をめざして実施する住民参加型の有料ボランティアです。寺谷地区の特異性を考慮し以下の様な図式で当該事業を開始します。



ときわ台、西国吉台、小勝山団地にお住まいの方で支援を希望される方は、その地区のルールに従い申し込みを行います。（ときわ台は近日中に支援組織設置予定、西国吉台は現組織の「お助け会」に、小勝山団地はコーディネーターに連絡）他の地区については「地区社協」の相談窓口へ支援依頼を行います。基本的に本人からの申し出ではなく、民生委員等の関係機関からの紹介で当該活動を展開します。

### 受付は

時間：毎週土曜日  
13:00～15:00  
電話：  
ときわ台  
コーディネーター 前川  
090-6149-1946  
西国吉台  
お助け会：小田川  
0436-95-4333  
小勝山団地  
コーディネーター 若林  
090-6713-5576  
南総地区社協  
070-5579-7629

※小勝山団地の連絡先は暫定1ヶ月ほどです。  
2025年から新しい連絡先になります。

## 2 支援する作業内容と料金体系

|               |               |
|---------------|---------------|
| ゴミ出し / 資源物の回収 | 家具の片付けおよび組み立て |
| 家具の移動         | 草刈り・草取り       |
| 電球交換等         | 樹木の伐採         |



※地区社協定額

草刈り、伐採、家具移動：800円／時間

電球交換：100円／個

※ときわ台、小勝山団地、西国吉台については、それぞれの地区の設定料金とする

## 3 支援者の募集について

寺谷小域福祉ネットワーク「日常生活支援事業」の登録申込書【支援員】を添付しました。

この事業に賛同いただける方は、是非この申込書に記入し提出してください。

どうか皆さんの力を貸してください！

※「ささえあい寺谷」の詳細は後日配布するリーフレットをご覧ください。

## 資源回収についてのお知らせ

いつも寺谷小域福祉ネットワークの資源回収にご協力頂きありがとうございます。引き続きご協力をお願いします。

さて、資源回収量が年々減少傾向にあり、その対策を考えているところですが、以下の2点について、更なるご協力をお願いする次第です。

### 1. 金属類の収集拡大について



これまで、飲料用の缶（スチール、アルミ）が中心でしたが、鍋、釜等の金属類も回収いたします。（添付資料を参照願います）

### 2. 市の資源回収 ⇨ 小域福祉ネットワークの資源回収へ

まだ、沢山の資源物が毎週金曜日（市の資源回収日）にゴミステーションに出されています。実はこの方法は、効率の悪い資源回収方法（一旦福増クリーンセンターに持ち込み、分別後に回収業者まで運搬しています）で、無駄にエネルギーを消費し、コストが増加します。小域福祉ネットワークで実施している資源回収は直接回収業者に引き渡すため、効率が良い事に加え、市と回収業者から補助金、売上金が頂け、皆様に還元することができます。

できるだけ、小域福祉ネットワークで実施している資源回収日（原則毎月第1日曜日）に出して頂けると幸いです。



## 寺谷小学校・思い出に残るカレーライス作り

子ども支援班



寺谷銀杏プロムナードが色づき始めた10月19日(土)は、秋晴れに恵まれ、絶好の日になりました。カレーライス作りは寺谷小「学び塾」の一環として毎年行われ、これまでは任意参加でしたが全校児童でのカレーライス作りとなりました。

低学年と高学年が一緒になり、カレー作り班と飯ごう炊さん班の2つに児童が分かれ、それぞれ先生・地域の方々の協力を得ながら、美味しそうなご飯・カレーが出来上がりました。食事会は校庭で行う予定でしたが、外気温が30℃を超え熱中症予防のため教室で行いました。

給食とは違い、みんなで作って食べたカレーライス。子どもたちはこの催しを心の中にしまっておいてほしいものです。先生を始め地域の皆さまのご協力に感謝いたします。



飯ごう炊さん班



カレー作り班



皆さん美味しそうです



炊さん虎の巻(飯ごうでの炊き方)



新品エプロンと三角巾を試着して記念写真



プラタナスの木

## 共生型サロン報告

高齢者支援班

今回は南岩崎自治会館で行われた「共生型サロン」について報告します。10月25日(金)小雨の中23名の参加者が集い、皆さん久しぶりにお会いになるのか、話が弾みにぎやかなスタートになりました。

最初に「認知症ミニ講座」をパワーポイントを使用し認知症とは何か、こんな場合はどうするかと具体例をあげ、問かけ方法で実施しました。皆さん真剣に取り組んでいただき結構盛り上がりしました。

水分補給タイムを取りながら、全身を使う「タオル体操」で反射神経などを鍛え、「両手ジャンケン」が難しく頭を悩ませていました。

おしゃべりタイム終了後、「みんなで歌おうのコーナー」に移り、「紅葉」「浜千鳥」「高校三年生」「若いふたり」「学生時代」など、全8曲を元気に合唱しました。

ふれあいの場・健康増進の場と満足できるサロンになりました。



認知症のお話



タオル体操



みんなで歌おう

## 「サロン・てらやつ」に決めました

寺谷小域福祉ネットワーク事業の一つで、今年度から年齢や性別、障がいの有無に関わらず、地域の身近な場所で誰もが気軽に集い交流できる「共生型サロン」として案内をしてきましたが、来年度から親しみが持てわかりやすい呼び名「サロン・てらやつ」に名称を変更します。

地域住民のふれあいや仲間づくりの場として、誰でも参加でき一時を楽しんで過ごして貰えるよう、担当者一同知恵を出し合い取り組んでいきます。

誰でも楽しく気軽に



サロン・  
てらやつ



## 手彫りの寺谷小学校校歌

寺谷小学校の体育館のステージに向かって右側壁の上部に、校歌の額が掲げられている。

入学式や卒業式など保護者が出席する行事には、手元の式次第にも記載されているけれど、顔を上げこの額を見ながら校歌を歌う。度重なるとそのうち譜(そら)んじて歌う事ができるようになり、次第に自分も寺谷小学校を卒業したかのような気持ちになる。

この額の内側の木の板は手彫りである。およそ10cm角ほどの板162枚が横18枚×縦9枚に並んでいて、昭和56年度卒業生一同の文字が見える。寺谷小学校初めての卒業生いわゆる第1期生の6年生3クラス97名が制作し残していったものだ。

戸田小・牛久小の一部学区を分割し寺谷小学校区を再編成して、それまで寺谷分校や戸田小学校、牛久小学校などにそれぞれ通っていた子たちが集まり、昭和56年4月からの仮設校舎での学級編成を経て、9月から本校舎で授業が始まった。6年生はおそらく図工の時間に、卒業記念にとひとり1~2枚の割り当てで板に校歌を彫ることにしたのだろう。先生が大きな和紙に墨書した校歌を、板の大きさに切り分け糊付けして、児童がめいめいに彫刻刀で彫っていったに違いない。文字がない板は一面彫り下げるだけだから、自分の割り当て分を早く仕上げた子が彫ったんじゃないだろうか。和紙を洗い流し乾かして、ニス塗って組み上げ完成である。こう書くとは簡単そうだが、1か月は優にかかっただろう。



筆者が50年ほど前に小学生だった時分には、「肥後の守」という小刀で鉛筆を削っていた(電動鉛筆削り機は教室にあった)から刃物を使うのは平気だった。当時の6年生もまた言うに及ばずで、見事な出来栄である。

校歌に関して気になる点では、寺谷小学校校歌の1番で「昔社の丘のあと 今拓かれたこの大地」とあるのは、社を遷座(せんざ)して別の場所に移したのちに切り拓き、小学校を建てたことを現わしているのだが、お社はどこに移されたのか。田んぼを挟んだ向こう側の丘の上の浅間神社の一角だろうか。

ところで寺谷分校の校歌はあったのか? あるならどんな歌だったのか知りたい。寺谷小学校30周年記念誌で、昭和10年~13年に在籍していた武田さんが、「鶴岡先生がオルガンをひいて(中略)唱歌をみんなで歌いました。まだ校歌はありませんでした。」と記している。まだということは、当時にはなくても後になって校歌ができたのか? という疑問が湧いたので分校に通っていた方に質問してみたら、「戸田小学校の校歌を歌っていました」とのことだ。入学式や卒業式、運動会などを合同で行っていたのだから、さもありなん。

(文責 高垣 仁)

### 閉校までの タイムテーブル

|           |     |                              |
|-----------|-----|------------------------------|
| 2024年 11月 | 1日  | 市民ホールにて市内小学校コンサート            |
| 2024年 11月 | 16日 | 記念事業「PTAレク」                  |
| 2024年 12月 | 7日  | 「学び塾」クリスマスリース・クレープ作り         |
| 2024年 12月 | 18日 | 記念事業「ハッチポッチクインテット はばたきコンサート」 |
| 2025年 1月  | 31日 | 「学び塾」寺谷カルタ                   |
| 2025年 3月  | 14日 | 寺谷小学校 卒業証書授与式                |
| 2025年 3月  | 15日 | 寺谷小学校 閉校記念式典                 |
| 2025年 3月  | 23日 | 学校解放デー                       |

記念式典までに、記念品  
および記念誌を配付予定

### ご注意ください!



一杯分くらいのお湯が沸きました。

鍋料理で煮立ったので弱火にしたら火が消えたのでしょうか。燃料の液化ボタンが気化するとき熱を奪うので、ボンベが冷え中の圧力が下がってガスが出てこないのです。使い切ったと思っても、液が残っているので振ったら音がします。気付かず穴をあけるとガスが噴出して火災になるかもしれません。

次の鍋までには温度も圧力も元に戻るの、始めにガスを使いきって、それから新しいボンベに替えてください。経済的で安全に鍋料理を楽しみましょう。

### そのボンベ、ガスが残っていませんか?!

12月の資源回収にカセットコンロのボンベが出ていました。振るとチャポチャポ音がしています。釘で穴を開けてガスを抜こうとしたので制止して、持ち帰ってコンロでガスを使い切りました。ヤカン

### 編集後記

今年から寺谷小域福祉ネットワークの一員として活動に加わり約半年がたちました。小学校の校庭草刈り、てらやつ夏祭り先輩の方々と楽しく活動させて頂き、気付いたらもう冬になりました。これからは寺谷小学校閉校行事、また日常生活支援事業の立ち上げ等々、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら小域ネットワークの仕事に心を込めて活動していきたいと思えます。

若林美砂



3月末をもって寺谷小学校は閉校となりますが、寺谷小域福祉ネットワークの活動は続きます。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。